

医療・介護・消防連携事業について

1 医療・介護・消防連携事業について（R3～6年度概要）

R3・4年度

- 医療介護関係者・消防署職員アンケートの実施
- 医療介護関係者・消防署職員による意見交換会の実施

【課題】

- 1 救急隊への情報提供の課題
- 2 ACPへの認識や、普及に関する課題
- 3 医療介護現場や救急搬送に関する理解への課題

R5・6年度

- 医療・介護・消防連携事業小委員会の開催

【検討結果】

- 1 救急隊への情報提供→119あんしんシートの作成
- 2 ACP→もしも…を考えるきっかけシートの作成、ACP勉強会の企画
- 3 相互理解→情報共有等検討

7月から

○ACP周知セット配布

10月から

○専門職向けACP勉強会を開始

1 医療・介護・消防連携事業について（R3～6年度概要）

参考：ACP勉強会

ACP勉強会基礎編資料（表紙）



○練馬区HP ACP勉強会基礎編
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/hokenfukushi/iryo/zaitaku/ACPStudy.html>

○練馬区HP ACP勉強会実践編
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/hokenfukushi/iryo/zaitaku/ACPStudyTRY.html>

ACP勉強会実践編チラシ

2 今後の医療・介護・消防連携事業について（案）

【現在、練馬消防署と検討している内容】

(1) 方向性

既存の事業を生かし、相互理解を深める機会を検討する

(2) 内容

【医療介護側が消防（救急）の現状を知る機会】

ア 情報提供

- ① 救急搬送等の現状について、在宅療養専門部会などにて情報提供

※事前に消防（救急）から情報提供いただき、区職員が説明

- ② ACP勉強会等で消防署職員からのコメントを紹介（動画）

イ 研修の活用

- ① 練馬総合病院が実施している「救急症例検討会」への参加

- ② そのほか

ウ 講師派遣の活用

- ① 救急の現状等に関する研修講師の派遣について相談窓口の紹介

2 今後の医療・介護・消防連携事業について（案）

【現在、練馬消防署と検討している内容】

(2) 内容

【消防（救急）側が医療介護の現状を知る機会】

ア 情報提供

- ① 消防内研修において本事業の取組周知（ACP啓発含む）
- ② 医療介護の現状について、必要時情報提供

イ 研修の活用

- ① 医療介護職が開催する研修の周知（消防（救急）に関係する内容の場合）
- ② A C P 勉強会基礎編の周知
- ③ その他

今後の連携内容については、ACP周知セットの配布を引き続き行うとともに、上記内容をベースとしながら事務局と消防（救急）とで適宜検討し、状況に合わせて実施していきたいと考えている。

3 「119あんしんシート」のデザイン変更について（案）

「119あんしんシート」について、消防（救急）から、「2人世帯以上の場合、シートが誰のものか見分けがつくようにできないか」という意見があったことから、以下のとおり、デザイン変更を予定している。

【現行デザイン】



【新デザイン】



R7年度版から、表紙に名前を記入するスペースを設ける。

4 今後のスケジュール

令和7年6月 第1回在宅療養専門部会にて今後の方針の説明

7月～ 消防との協議
情報提供のための資料作成

10月～ 119あんしんシート印刷、適宜配布

令和8年1月 第2回在宅療養専門部会にて進捗報告

3月 第1回在宅療養協議会にて進捗報告
消防と次年度に向けて研修などの情報共有